

平成 31 年度 授業計画(シラバス)

| | | | |
|------------------|---|-------------------------|------|
| 開講時期 | 1年次前期 | 科目区分 | 専門科目 |
| 学科名 | 公務員専攻科 | 授業形態 | 講義演習 |
| 担当講師 | 玉榮智仁 | 授業科目名 | 英語 I |
| 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 受講生の到達目標 | 講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。 | | |
| 授業概要 | 他言語を学習する上で基本となるのは文法と単語力である。英語 I は文法と単語に力を注ぎ、短い文から理解できるようになり、最終的に本試験レベルの長文を読解できるよう学習していく。 | | |
| 授業計画 | 4月 | 名詞、動詞の確認、単語力養成 | |
| | 5月 | 時制、助動詞、受動態の確認、単語力養成 | |
| | 6月 | 比較級、動名詞、不定詞、分詞の確認、単語力養成 | |
| | 7月 | 関係代名詞、前置詞、接続詞の確認、単語力養成 | |
| | 8月 | 夏期講習(まとめ) | |
| | 9月 | 直前演習 | |
| | 10月 | | |
| | 11月 | | |
| | 12月 | | |
| | 1月 | | |
| | 2月 | | |
| | 3月 | | |
| 成績評価の方法 | 科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。 優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。 また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。 | | |
| 使用テキスト 及び参考図書 | ビルギヤル式坪田塾の英文法ノート(角川文庫) | | |
| | ターゲット1400(旺文社) | | |
| | 英検準2級対策(旺文社) | | |
| 学生への メッセージ | 英語は公務員試験で、出題数が多いわりに、学習していない生徒が多い科目である。しかしながら、単語力や文法の力をつけることによって、確実に点数を取ることが可能である。まずは、家での単語の学習を繰り返し続け、短い文からきちんと訳できるよう頑張ってもらいたい。 | | |

平成 31 年度 授業計画(シラバス)

| | | | |
|------------------|---|-------------------------|------|
| 開講時期 | 1年次後期 | 科目区分 | 専門科目 |
| 学科名 | 公務員専攻科 | 授業形態 | 講義演習 |
| 担当講師 | 玉榮智仁 | 授業科目名 | 英語Ⅱ |
| 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |
| 受講生の到達目標 | 講義範囲内の問題において7割以上の正答を目指す。 | | |
| 授業概要 | 英語Ⅱは英語Ⅰ同様に文法と単語に力を注ぎ、短い文から理解できるようになり、最終的に本試験レベルの長文を読解できるよう学習していく。 | | |
| 授業計画 | 4月 | | |
| | 5月 | | |
| | 6月 | | |
| | 7月 | | |
| | 8月 | | |
| | 9月 | | |
| | 10月 | 名詞、動詞の確認、単語力養成 | |
| | 11月 | 時制、助動詞、受動態の確認、単語力養成 | |
| | 12月 | 比較級、動名詞、不定詞、分詞の確認、単語力養成 | |
| | 1月 | 関係代名詞、前置詞、接続詞の確認、単語力養成 | |
| | 2月 | 総合演習 | |
| | 3月 | 総合演習 | |
| 成績評価の方法 | 科目評価は模擬試験や随時行われる確認テストを100点満点に換算し、以下4段階で評価する。 優・・・100～85点、良・・・84～70点、可・・・69～55点、不可・・・54点以下。 また出席率、授業態度、提出物に問題がある場合は換算した点数から減算し評価を決定する。 | | |
| 使用テキスト 及び参考図書 | ビルギヤル式坪田塾の英文法ノート(角川文庫) | | |
| | ターゲット1400(旺文社) | | |
| | 英検準2級対策(旺文社) | | |
| 学生への メッセージ | 英語Ⅱでは、長文読解に必要な不可欠な関係代名詞や否定の表現が含まれた文の訳の仕方を確認しながら、100文字レベル文まで自分の力で訳せるように学習して欲しい。 | | |